



21世紀

卒業
おめでとう!

学校教育目標：心豊かで たくましく生きる子どもの育成

令和7年3月19日

ご卒業、おめでとうございます。



6年間の学びを自信に変え、大きく羽ばたけ!

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

卒業式でも話しましたが、小さな学校だからこそ学べたこと、成長したことが本日の4名の姿に表れていました。これからも後閑小学校の卒業生であることを誇りに感じてほしいと思っています。

この1年間、最高学年として、学校を引っ張ってくれたこと、本当に感謝しています。ありがとう。

4月からは、中学生として、さらに新たな学びや経験を通して、大きく成長してくれることを願っています。そして、たまには、その成長した姿を見せに、小学校へ来てください。運動会、学習発表会などで、会えるのを楽しみにしています。

ご家族の皆様におかれましては、この6年間、本校の教育活動にご支援、ご協力をいただきましたことに、心から御礼申し上げます。来年度からは、後閑小学区の地域の皆様として、本校を応援していただけると幸いです。運動会、学習発表会などには、ぜひお越しください。また、学校支援ボランティアとしてもお力を貸していただけるとありがたいです。今後ともよろしく願いいたします。

「竹のように、しなやかに、強く」

本日、卒業生に贈った言葉です。

「竹林校長が竹の話をしていたなあ」と覚えていてくれると嬉しいです。

———（式辞から一部抜粋）———

強い風が吹いても、重い雪が積もっても、折れることなく、その体をしならせて耐え続ける竹。

嵐が過ぎ去ると、また元のようにまっすぐに立ち上がります。

空洞のやわらかさと節の硬さ。そのバランスをとることで、竹はしなやかに強く生き続けます。

竹のように、困難な状況でもへこたれず、大きなプレッシャーを上手にかわしながら、またしっかりと立ち上がるのできる人になってほしい。

そのためには、見たり、聞いたり、話したり、考えたり、作ったり、いろいろな物や人に触れる経験を通して、どんな状況にも対応できる柔らかさ、しなやかさを身に付けてほしい。

また、節目節目に、これまで学んできたことや自分の成長を振り返り、自信や目標をもって新たなスタートを切ろうとする強さを身に付けてほしい。



これからの先、出会う人、チャレンジすることが、4名をしなやかに、そして強くしてくれると信じています。チャンスは、自分でつかむもの。失敗なんか気にせず、自分からどんどん新しい出会い、新しい経験に向かって行ってほしいと思います。卒業生の明るい未来を応援しています。